

次期IAEA事務局長選挙結果について

平成21年7月3日

原子力委員会委員長談話

天野大使が次期IAEA事務局長選出に必要な理事国35ヶ国の有効票の3分の2以上の支持を得て当選したとの報に接し、天野大使に心からお祝いを申し上げます。天野大使がこの10月から、卓越した指導力を発揮してIAEAの事務局を運営していくものと確信しています。

大使は立候補に当たって、IAEAが核兵器の不拡散と技術協力を含む原子力の平和利用の推進という設立目標をバランスよく達成することに力を尽くし、現在IAEAが直面している保障措置活動や原子力安全、核セキュリティに係る取組の強化、核燃料供給保証や技術協力などの分野における国際共同取組の革新等の課題に対して優先的に取り組むとの決意を表明されました。

原子力委員会は、国際社会にとって極めて重要なこの二つの目標の達成にIAEAが果たしている役割の重要性に鑑み、IAEAが他の国際機関や地域協力の枠組みとの連携を強化し、IT技術を始めとする最新の科学技術の活用などにより、効果的かつ効率的にその使命を果たすべく運営されることを求めます。一方、原子力平和利用の先進国である我が国は、これを機会に、従来にも増して積極的にIAEAの活動をリードして、支援していくべきと考えます。